

中心市街地活性化におけるTMOまちづくりやべについて

旧矢部町（※現、山都町）の中心市街地、浜町商店街は5つの商店街から成り立っており、世界的に誇る歴史的建造物「通潤橋」が近接しています。また、日向往還の要衝として江戸時代から栄え、240年以上の伝統を誇る「八朔祭」も商業者を中心に市街地中心部を会場にして催すなど、古い歴史を持った商人の町でもあります。しかし、人口減少、高齢化、国道218号バイパス沿いへの大型店出店、モータリゼーションの発達による都市部への商圈拡大等によって、商店街の疲弊はますます深刻なものとなり、空き店舗も増加の一途をたっています。

商店街の衰退は地域社会の存在そのものを脅かすことであり、地域の重要な構成要素を失わせることでもあります。浜町商店街が地域の中心としての役割や、新しい時代に向けたあり方を検討し、町民、事業者、行政が一体となって取り組むことが重要な課題として捉えられるようになりました。

以上のことから、旧・矢部町においても平成10年度に制定された中心市街地活性化法の施行を受け、同年度に矢部町中心市街地活性化基本計画を策定しました。その後、この計画を基本として商工業者を中心とする住民1/2、町1/2の出資で「株式会社まちづくりやべ」が平成13年8月に設立し、住民が自分たちで手がけた「矢部町TMO事業構想」を基に旧矢部町がTMO機関として認定しました。TMO機関とは、中心市街地を活性化するためのまちづくりに関する企画、管理、経営等を行うものです。

㈱まちづくりやべでは、現在、株式会社として収益を図るために、地籍事業部を立ち上げて町から委託事業を受注しながら、TMO機関として商店街活性化に向け、国・県の補助金の動向をみながら、TMO計画に沿った事業推進を図っています。

㈱まちづくりやべに関する概要は、下記の通りです。

記

1. 設立及び出資金状況

平成13年 8月1日 株式会社「まちづくりやべ」（登記）

第3セクター方式・額面5万円株式発行

設立出資金：1,000万円（200株：内町60株）

平成13年12月6日 発行済株式変更（登記）

出資金総額：1,400万円（280株：内町分140株）

平成16年 7月7日 発行済株式変更（登記）

出資金総額：2,000万円（200株：内町分200株）

2. 取り組み事業

平成13年度

中小商業活性化事業「矢部町TMO事業計画書策定事業」(国子補助対象)

事業費 8,238,500 円

平成14年度

商店街コンセンサス形成支援事業「商人塾」(熊本県事業)

中心市街地商業活性化推進事業「食開発事業」

—空き店舗利用による食開発(熊本テクノ財団補助対象)

事業費 1,150,000 円

平成15年度

熊本県魅力ある商店街づくりソフト支援事業

—「テナントミックス事業」(国庫、県補助対象)

事業費 6,040,000 円

10月28日 郷土料理店「よこまち」開店(空き店舗対策事業)

TMO実施主体、運営「虹の会」(商工会女性部)

① 郷土料理の食事処経営

② 空き店舗の有効利用

③ 地産地消

12月 矢部町地籍調査補助業務委託契約受託(平成17年度も受託)

3月 PFI事業研修会

平成16年度

熊本県魅力ある商店街づくりソフト支援事業(平成17年度継続中)

—「コミュニティ施設活用商店街活性化事業」(国庫、県補助対象)

事業費 6,166,733 円

2月1日 街角コミュニティホール「よろずやさん」開所

TMO実施主体、運営「矢部町社会福祉協議会」

① 休憩所として開放

② 小規模多機能ホーム

③ 高齢者匠の技展示販売

④ 八朔祭の造り物見学休憩所

⑤ 商店街の情報発信所

⑥ 御用聞きコーナー